

# おごせ 教育 Pick Up

## 越生小学校



7月29日(日)、8月19日(日)と2日間にわたって、越生小学校を会場に「子ども大学越生」の講座が行われました。両日とも講師は本校、竹田校長が行いました。8月19日は「高さのパワー」という講座でした。子どもたちは高いところからものが落ちてくる力について、楽しく学ぶことができました。

## 梅園小学校

2年生が生活科で育てた野菜を使ってパーティーを行いました。野菜づくりでお世話になった立川さんや1年生も招待しました。心を込めて育てた野菜はどれもおいしくみな大満足でした。



## 越生中学校

7月6日に、1年生は川越に、2年生は上野に校外学習を行いました。班で協力し見学して回る中で、貴重な体験と現地でしか学べないことを学び、友情を深めてきました。

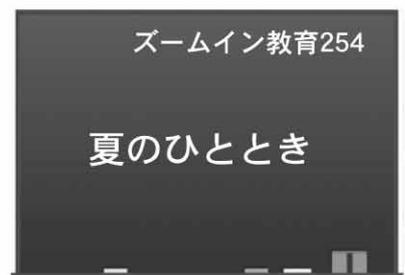


### おごせっ子広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



【夕涼み会】  
越生みどり幼稚園  
今年も幼稚園で夕涼み会を行いました。暑さが心配される中でしたが、園児をはじめ、小学生・未就園児、町外からもご家族で多数遊びに来てくださいました。  
ヨーヨー、駄菓子屋などのお店その他に缶つみやボーリングなどのゲームも楽しめました。



【たなばた★まつり】  
七夕の日に向けて笹飾りをしました。幼稚園では裏庭に竹林があるので、毎年竹を切り、その竹に飾り付けをしています。  
保護者の方にも笹飾りを楽しんでいただくとうとう「たなばた★まつり」を企画。飾りを眺めるのももちろんのこと、入園・進級してから今までの園生活の中で、各クラス楽しんでできたことを発表しました。一人ひとり名前を呼び、返事をし、歌や製作、合奏など、ありのままの子どもの姿を見ていただきました。



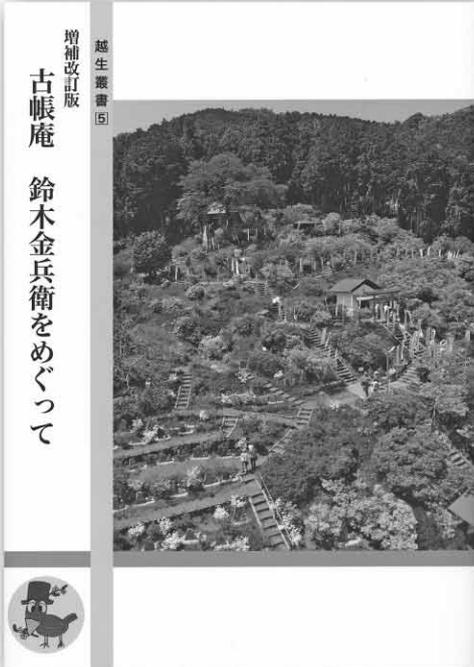
地域の施設や飲食店にも協力していただき、かき氷や焼きそばを食べて楽しい夏の思い出ができました。

# 越生浪漫

No. 116

越生叢書 5

『増補改訂版 古帳庵  
鈴木金兵衛をめぐって』



古帳庵 鈴木金兵衛をめぐって

増補改訂版  
越生叢書 5

越生郷黒岩村出身の江戸日本橋の商人、鈴木金兵衛（俳号古帳庵）の業績をまとめた冊子を刊行しました。平成6年に刊行した越生叢書④の全面改訂版で、次に掲げるような新事実や新発見資料が増補されています。

- (1) 古帳庵の肖像画
- (2) 鈴木金兵衛奉納の錦絵に

描かれた七代目市川団十郎  
(3) 新発見の句碑  
伊勢路・世田谷区九品仏・伊勢原市五霊神社で確認された古帳庵・古帳女の句碑  
(4) 川越市下新河岸の河岸場跡に遺されていた札所巡拝碑  
(5) 新出版資料（黒岩村五大尊参詣道法、「日本三社五大尊明王いろは二王」ほか是非ご一読の上、五大尊へ出かけてみてください。句碑や札所巡拝碑めぐりには、これからの秋冬がお奨めです。左記の場所で開催中です。図書館・中央公民館・自然休養センター・観光案内所（オーティック）

販売価格 1000円

A4版244ページ（カラー口絵16ページ）

## 第27回 越生町生涯学習町民のつどい

—— 渋沢平九郎没後150年 記念講演と説経節公演 ——

日時：平成30年9月9日(日) 午後1時30分開演

(午後1時開場、午後4時20分終演)

講演会：講師 桑原功一氏（渋沢史料館副館長）

説経節：「飯能の嵐 渋沢平九郎自刃の段」

演者：三代目若松若太夫（東京都指定無形文化財保持者）

共演：三芳町竹間沢車人形保存会（埼玉県指定民俗文化財）

～人形浄瑠璃「傾城阿波の鳴門より」上演～

会場：越生町中央公民館視聴覚ホール 入場無料 定員230名



竹間沢車人形保存会による「傾城阿波の鳴門」

## おごせ 昆虫と自然の館 通信 No.77

### キアゲハ

「チョウ目アゲハチョウ科」

キアゲハはアゲハに似ていますが、ただ、アゲハより黄色いこと、また斑紋も異なっていることから、慣れれば区別することは容易です。成虫は樹間を飛ばず、草むらの上を飛びます◆本種は北半球北部に広く分布しており、日本でも食草のある低地から高山まで分布しています◆幼虫はミカン科を食べるアゲハ、クロアゲハなどと違い、セリ科の植物を食べ、栽培しているニンジンやアシタバも食べます。埼玉県の低地では成虫は年2・3回発生します。1回目の成虫（春型）は美しい姿をしています◆特異なのは終齢幼虫です。キアゲハと同属のアゲハ類の終齢幼虫は緑色ですが、キアゲハの終齢幼虫は、黒と黄緑色の縞模様になる。



キアゲハ成虫と縞模様の終齢幼虫

斑点の入った、異様な模様なのです◆なぜキアゲハの終齢幼虫が異様なのか、それを研究した研究者はいました。しかしその結果はあいまいで、改めて、筆者の自宅で飼っているニワトリを使って実験をすることにしました。その結果……ニワトリはアゲハやクロアゲハの終齢幼虫をすぐに食べてしまうこと、キアゲハの幼虫に毒はないのに、ニワトリはキアゲハの終齢幼虫を食べることを「その模様から、ためらう」ことを確かめました。この「ためらう」ことが、本種の終齢幼虫の模様の進化をもたらしたと、筆者は考えています。

（巣瀬 司）